

ジュディス・ナカニカ (ジェイド)

ミンドロ・エキュメニカル財団(MEF)
ザンビア・銅ベルト州 キトウェ

民族 / 部族: ナムワンガ
母語: ベンバ語
宗教: キリスト教
職業: 教師



仕事について：

「私は、キャリアをスタートさせたばかりの頃から、特に教育を通じて持続可能な開発の分野で、人々の生活にはっきりとしたインパクトを与えたいという願望に突き動かされてきました。」

ジェイドは誠実さ、協調性、敬意を重んじる人で、それは仕事においても私生活においても不可欠なものだと考えています。彼女は聞き上手であり、問題に対する総合的な解決策を見出すよう、人々を励まします。彼女の所属するミンドロ・エキュメニカル財団では、多様性の中に一体感を見出し、さまざまな宗派が一緒になって、すべての人のために豊かな経験を創造しています。ジェイドは、学校の教師として、好奇心と学ぶことの喜びを育む、魅力的な環境を作ることで、子どもたちに全人的な教育を提供することに力を注いでいます。また彼女は、地域の農家に有機的で持続可能な技術を導入するよう働きかけてきました。自分たちの農業のやり方を変えることを嫌がる地域住民の抵抗にも直面してきましたが、人々の懸念に耳を傾け、恐れを認め、オープンな対話の中で対処することで、これらを克服してきました。

アジア学院で、ジェイドは、土壌の健康状態を改善する方法、コミュニティの権利や能力を高める方法、環境保全についてさらに学び、これらの技術をコミュニティに応用できるようになりたいと考えています。最終的には、地域の人々の参加を促すことで、コミュニティのレジリエンスと食糧安全保障を促進したいと願っています。「アジア学院で学んだ新しい手法を取り入れた、斬新なプロジェクトを率いる日のことを、思い描いています。」

送り出し団体について：

ミンドロ・エキュメニカル財団は、持続可能な開発、技能訓練、倫理の分野でザンビア全土のコミュニティに研修機会を提供しています。MEFは、内省、礼拝、教育を通して、使命の実現を目指しており、活動の主な受益者は教会と農村コミュニティです。彼らは、ジェイドの情熱と習得した知識によって、今後も、農村コミュニティにおける持続可能な実践が続けられ、開発を後押しする研修を続けてくれることを願っています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)